

レポートについて

勉強とは、自分(あるいは他人)が理解しやすいように工夫すること!!

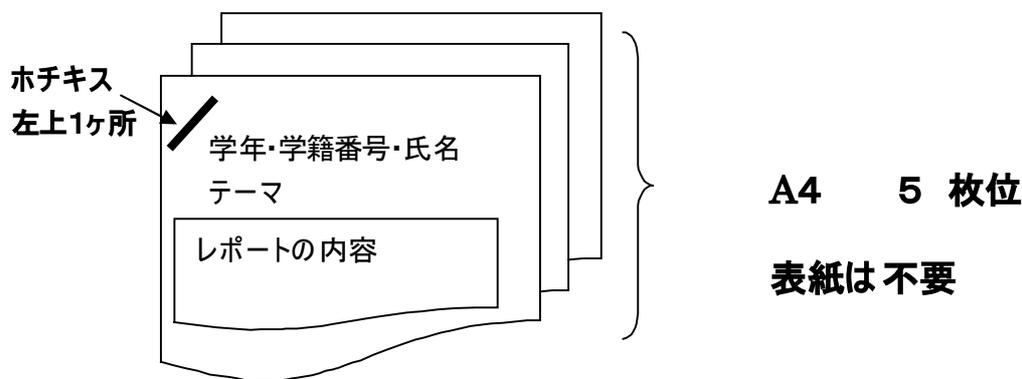
大学では、勉強の仕方(ものの見方・考え方=論理の組み立て)を身につけること!!

分からないことがあれば自分で調べること(辞書は常に携帯する)!!

それでも分からない時に はじめて他人に分からないことを質問すること!!

丸投げして訊かない!!

1. 全体の構成



2. 項目立て

(1) テーマ および テーマの選定理由

- ① テーマの設定 : 大きすぎるテーマ・週刊誌のタイトルのようなテーマは避ける
 - 抽象的にしかとらえられない
 - 展開しきれない — 例えば、本・雑誌などの要約, 写しだけになってしまう
 - データが採れない — 検討・考察が主観的・独善的になる

- ② テーマ選定理由
何故そのテーマを選んだのか (自分としての問題意識, キッカケ など)

(2) レポートを組立てる上での仮説

- ① 仮説の意味

ビールとその他の酒類の売上ではビールの方が大きいだろう	レポートの仮説にはならない
ペットボトルの売上は増加しているだろう	調べれば終わってしまう

* ここでいう**仮説**とは、すでに分かっている事柄=既知の事実を組み合わせて、未知のものの**法則性や関連性, 因果関係**などがどのようにになっているのかを推測して仮定したもの

■仮説

例えば、一定の価格帯(プライスゾーン)に商品を配置すると両端(最も高い、最も安い)の価格帯の商品はあまり売れず、中央の価格帯にある商品に売上が集中する傾向にある。(ただし、全ての商品について言えるわけではなく、商品のタイプ、販売する店舗の状況によりにより、全く異なった結果が出る場合がある。……仮説が成立する条件を確認することは重要！)

『さまざまな要素が結果に対してどのように働き、どのような影響を及ぼすのか(結果にいたるまでにどのようなメカニズム、法則性が働いているか)、過去のデータに基づき仮定』したものが仮説である。

この場合、もし『消費者は中央にある価格帯の商品を買う傾向がある』とすれば、『現在より平均買上げ単価を高くするためには、現状の品揃えよりも上の価格帯に商品を配置することが有効ではないか』、という仮定が成り立つ。(ただし、その仮説を検証し、状況をコントロールするためにはさらに具体的、かつ詳細な調査・実験などが必要になる。)

仮説の**目的**は、『商品購入に影響を及ぼす要素とその影響の仕方(メカニズム・法則性)を知り、その法則性を品揃えに応用するによって商品販売をコントロールすること』である。

仮説は「商品の価格(プライスライン)別売上に**どのような要素が、どのように影響しているのか**」であり、過去に知り得たさまざまな現象などから**推測・仮定**することで調べるデータやデータの取り方、検討(調査・実験)の仕方などが決まる。

問題意識からどのように仮説を組立てるかによって、レポート全体の展開、データの種類・採り方・検討方法などの総てが決まる。

(3) 資料 (データを加工したもの)

- ① マス媒体からの引用はかまわないが、**必ず、出典、引用を明らかにすること**
- ② **見やすく工夫=ビジュアル化すること**(何を見るかによってグラフの種類は変わる)
- ③ **データが目的ではない!! データにばかり時間をかけないこと!! (コピーでもよい)**
- ④ **データの取り方・検討方法**

何を、どのように知りたいのか(仮説)によってデータの種類、採り方・期間、検討方法が変わる。

時系列変化を見る・重点を見る ⇒ 1ヶ月、週間、曜日別、曜日時間帯別などデータの期間
 複数要素の関係を見る ⇒

{	種類別売上、全体売上というデータの大きさ、単位
	売上点数、単価、客数などという項目 etc.

 (何について知ればよいか)

(4) 資料についての検討、考察

資料についての引用はよいが、**考察、結論まで引用しないこと !!!!!**

資料だけでは、レポートとして認められない。考察結果・結論を加えること !!!!!

(5) 全体としてのまとめ・結論・課題

資料についての引用だけではなく、考察、結論まで引用しないこと !!!!!

インターネットや雑誌記事の要約はしないこと(結論がない。見ればすぐ分かる。)!!!!

自分で考えた問題意識・仮説・考察・結論・課題がないものはレポートしての要件を満たさない!!!!

4. 全体の展開 特にデータ・資料の使い方

何のためにデータ・資料をつけているのか 説明する必要がないデータは不要

仮説／仮説を検証するためのデータ、資料／その説明と結論・課題・感想など

- * 勝手に自分の考えだけで独善的に展開しない。事実データに基づいて論理的に展開すること。
- * 参考資料に客観性を持たせるため、必要に応じて複数の著作物を比較すること。

5. その他 書き方, まとめ方

ダラダラ書かない!

とにかく**表**(マトリックス)にする。**表**にまとめることで同一項目内や項目間の比較がしやすくなる

考察も解説も**箇条書き**にしてダラダラ書かない。論理的になるよう書く順序を決める。

できるものがあれば**総て表にする＝何でもマトリックス!!**

レポートでは、問題意識、テーマ選定、仮説設定、検証という一連のプロセスをどのように組立てているかを評価する。

自分で考え、自分の言葉でまとめること !!!!!